

令和4年度 第2回「地域フォーラム」

# 天川村の村づくり

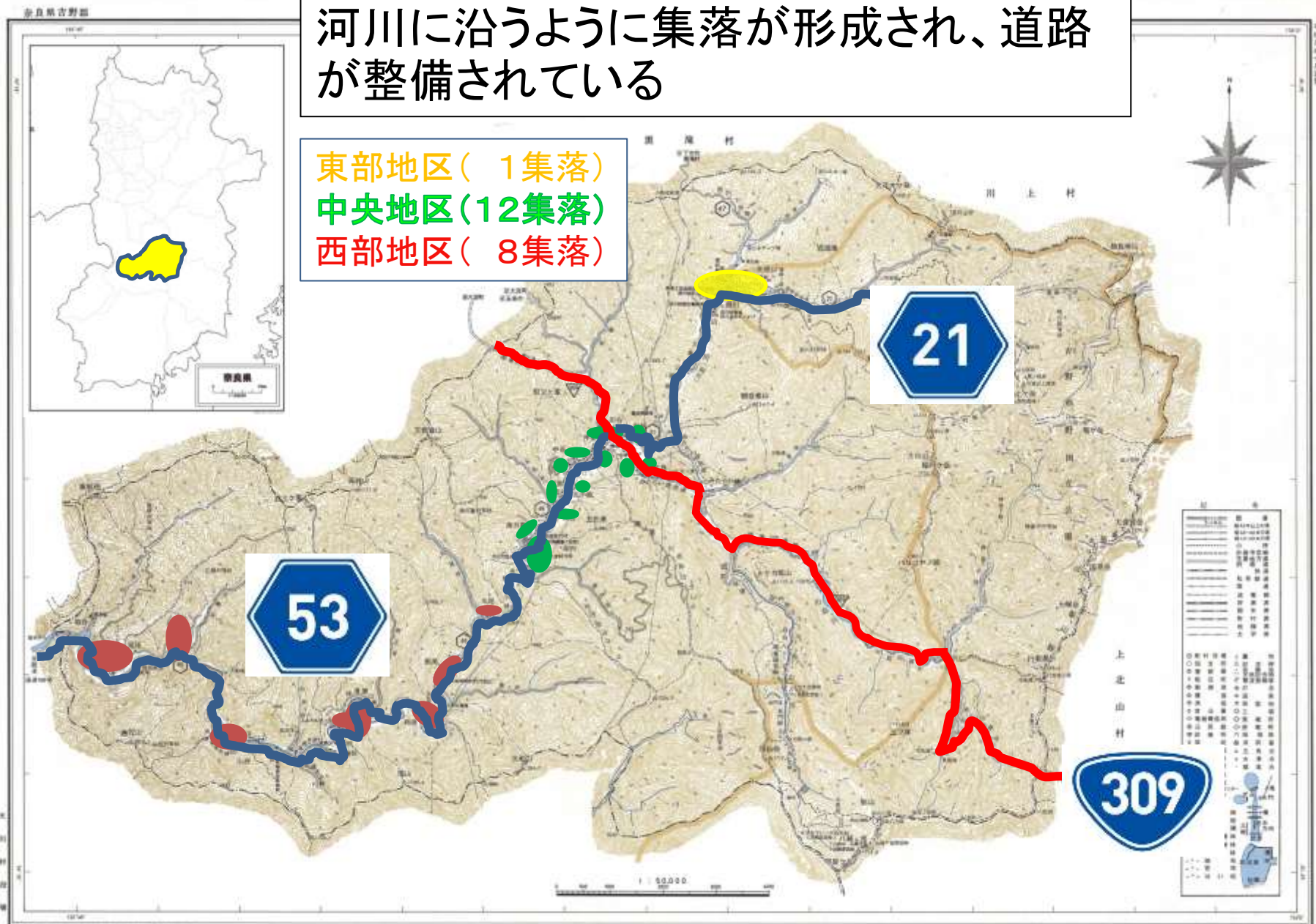
令和4年10月9日

天川村山村開発センター

天川村長 車 谷 重 高

河川に沿うように集落が形成され、道路が整備されている

東部地区( 1集落)  
中央地区(12集落)  
西部地区( 8集落)



# 主要地方道大峯山公園線 改良予定場所





# 主要地方道高野天川線 改良状況



南日裏工区



庵住工区

# 国道309号の現況



みたらい溪谷



# 観光施設の整備状況



公衆トイレの新設・洋式化改修

洞川温泉駐車場の拡充





# 観光客の滞在時間が長くなる取り組み



夜間時間の活用

モデルコースを巡る



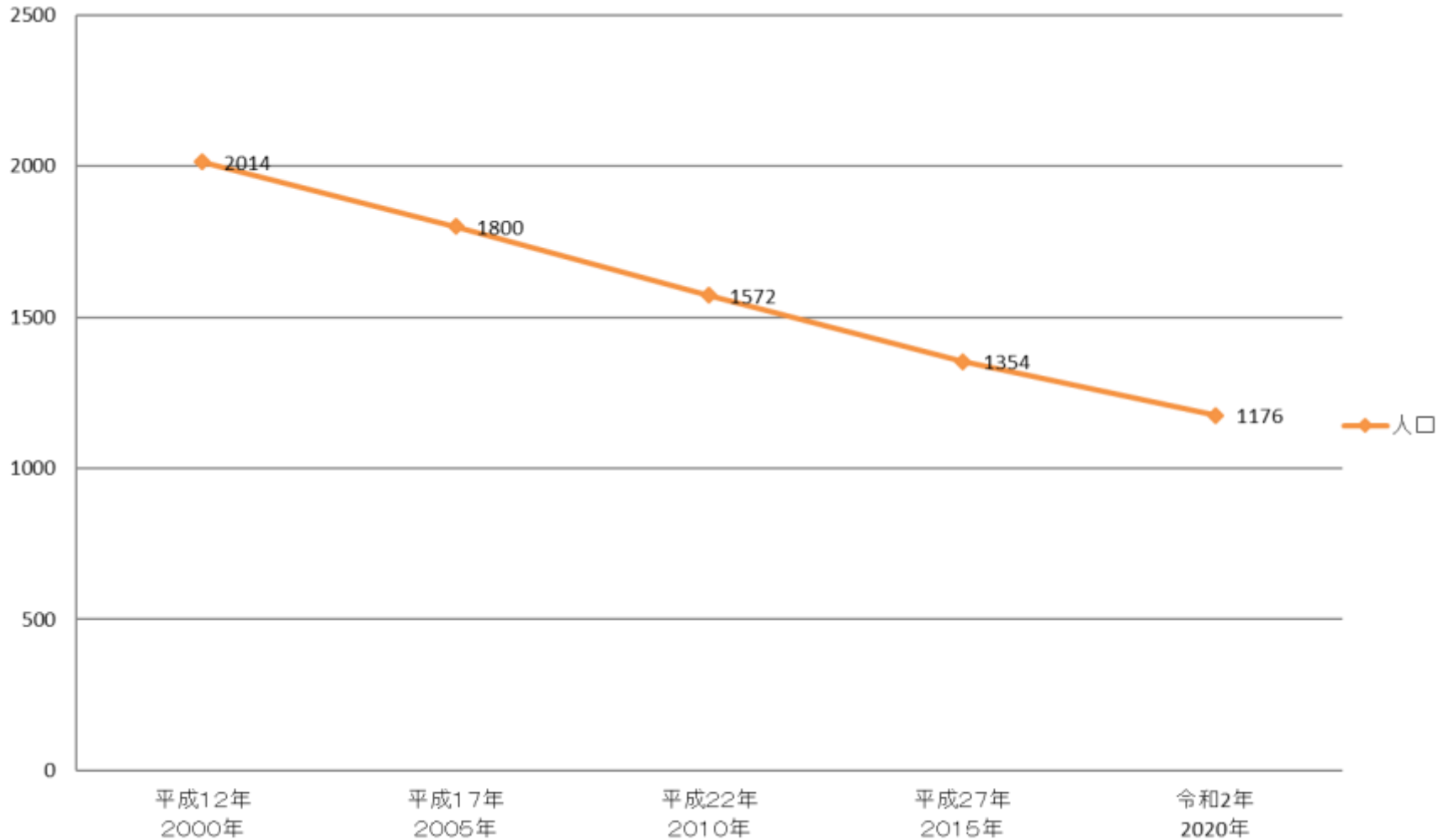
- ・天川村への入込客数  
年間64万人以上（推計値）  
うち約13万人が宿泊

- ・天川村の宿泊施設等

旅館	・・・16軒	山小屋等	・・・3軒
民宿	・・・10軒	BBQ施設	・・・6軒
ペンション等	・・・8軒		
キャンプ場	・・・21軒		



# 平成12年から国勢調査人口



# 2020年国勢調査の結果

- 天川村の人口は1, 176人
- 15歳未満の人口は全体の 8. 2%
- 生産年齢人口は全体の 41. 0%
- 65歳以上の人口は全体の 50. 8%

# 天川村創生総合戦略

## 天川村創生総合戦略 基本目標 1 しごとづくり

地域に根ざした仕事による安定した雇用の創出  
**観光との連携による農林水産業の6次産業化と  
魅力ある観光地づくり**

数値目標 新規雇用者の増加：5年間で30人増加  
観光客数：5年間で10%増加

●農林水産業と観光業の連携により、共に成長するように努めます。農林業は、地産地消を基盤として生産・加工業を立ち上げ、新鮮で安全な野菜・山菜等食材や加工食品を観光客に提供します。また、「ご当地名物」となる特産品づくりに取り組み、農林業が観光業とともに活性化し、本村の人間やにぎわいの増すように努めます。

●また、本村は、大塚山岳信仰の聖地として、これまで「癒し」をテーマとする観光地づくりを進めてきています。そこで、本村に伝えられた薬草・薬木など「癒し」の農林産物を見直し、保養・養生など高齢化時代の大きなニーズに応える薬草特産品づくりとその6次産業化にも取り組みます。

さらに、農林業の6次産業化として、ICT活用や外需による広域への販路拡大を図り、地域に根ざした仕事による安定した雇用の創出に取り組みます。

●観光については、テーマ性、ストーリー性をもった個性のある観光コースの創定により、自然や歴史文化の魅力最大に取組みます。

●そのコースのひとつ、世界遺産の二大聖地である大塚と高野を結ぶ「大塚高野街道すずかけの道」には、随所に辻大師にまつわる多くの伝承が残されており、この観光ルート化を図ります。

### (1) 観光との連携による農林水産業の6次産業化

- ① 農産物の観光と地域活性化のための交流の場づくり
- ② 農産物の生産・加工・販売事業（6次産業化）の支援
- ③ 「癒し」をテーマとする保養型観光の創出
- ④ 林産物関連の生産と販売促進の支援
- ⑤ ICT活用等による広域への販路拡大の支援
- ⑥ 効果的な販路開拓の推進

### (2) テーマ性、ストーリー性をもった魅力ある観光地づくり

- ① 大塚と高野を結ぶ「大塚高野街道すずかけの道」づくり
- ② 「大塚高野街道すずかけの道」への交通サービスの検討
- ③ テーマ別観光コースの創定
- ④ 広域連携による農林水産業振興プロモーション
- ⑤ インバウンドの促進
- ⑥ 観光情報発信の強化

### (3) 大塚・高野信仰の創出と再生可能エネルギー利用の推進

- ① 森林資源の有効活用促進
- ② 林業の機械化・省力化の促進
- ③ 林業従事者の就業環境の改善による定住人口の確保
- ④ 公共施設等への太陽光発電の導入促進
- ⑤ 公共施設等への再生可能エネルギー導入の推進

### (4) 起業・第二職業等の支援

- ① 個人事業主による起業の支援
- ② 包括的創業の支援

## 天川村創生総合戦略 基本目標 3 結婚・妊娠・出産・子育て

若い世代の結婚・妊娠・出産・子育て希望の実現  
**子育て支援の充実**

数値目標 2020年の合計特殊出生率 1.6  
2020年の0～4歳人口（総数） 27人  
2020年の生活不安定率「不安はない」が10%増加

基本的な目標は、「天川村子ども・子育て支援事業計画」をふまえて、次の3点とします。

1. 結婚・妊娠・出産、子育ての切れ目のない支援を実現するとともに、子どもや子育て家庭の多様なニーズに応えること。
2. 子どもを守り育む観点とともに、子どもの未来を育む環境づくりを推進すること。
3. 社会全体で子どもの育ちや子育てを支えて応援する地域づくりをめざすこと。

これらの目標に向けて、次のような施策対応を進めます。

- 若い世代の結婚に向けての出会いを支援します。
- 結婚・妊娠・出産、子育ての時期に応じた切れ目のない支援を進め、安心して子育てができる環境づくりを進めます。
- 妊婦から出産後の母子の心と体の健康のための健康、相談、加療体制を充実し、妊娠・出産、育児不安の軽減を図ります。出産直後の経済的負担を軽減します。
- 子どもの虐待防止の予防を含め、母子保護事業を推進します。
- 親を支援する女性が、出産・育児のライフステップを通して働き続けられるよう、多様な雇用や労働後子ども総合プラン等を整備します。

女性の就業環境の改善に向けて、労働時間短縮や育児休業制度の円滑な利用ができるよう事業者の意識改革を促し、育児・

介護休業法に定められた子育て期間中の短期労働制限制度の義務化や子どもの育環境の拡充を図ります。

さらに、社会全体で子育てや育ち多様な支援する仕組みを整えます。

- (1) **出会いと結婚の支援**
  - ① 結婚に向けての出会いの支援
  - ② 結婚希望者、結婚者のための情報窓口
- (2) **妊娠前から出産後の母子の健康確保**
  - ① 母子の健康の保持・増進
  - ② 児童、生徒の健康の保持・増進
  - ③ 小児医療の充実と予防の推進
- (3) **子育て支援の充実**
  - ① 子ども、子育て支援事業の推進
  - ② 相談、情報提供体制の充実
  - ③ 子育て家庭の経済的負担の軽減
- (4) **社会全体で子育てを支援する仕組みの構築**
  - ① 仕事と生活の調和の推進と女性の就業環境の改善等
  - ② 多様な働きかたの支援
  - ③ 労働者の能力開発の充実
  - ④ 子育て支援のネットワークづくり
  - ⑤ 地域における交流の促進

## 天川村創生総合戦略 基本目標 2 ひとの流れ

天川村への新しい人の流れの支援  
**空き家の活用によるUターン者の促進**

数値目標 Uターンの増加：転入者数と同数の転入者数

村の3つの地区づくりの方向性にもとづき、新しい人の流れがそれぞれの地区の成長を促すように努めます。

●中央地区は、広域幹線道路整備の進行に伴って大塚町への交通時間が約40分となり、通勤可能な増加が拡大しています。この地区には、村役場、山村開発センターをはじめとする公的施設を擁し、南日真周辺には、保健・医療・福祉機能の充実を図っています。そこで、人口流出の抑制と、都市部から転入するUターンの促進に向けて、魅力ある居住地づくり、空き家の活用による住宅整備を進めます。

●割川地区は、コンパクトな人口の集積地区で、主要な観光地でもあります。伝統文化を保全しながら個性的で魅力ある観光・高品質な整備を図り、温泉の保養・休養機能や観光機能を充実し、都市との交流の役割を担っています。そこで、本村の農林水産業の6次産業化による特産品づくりとの連携による観光産業の活性化に取り組めます。また、若者の定住やUターンに向けて、空き店舗を利用して、事業者を育成しながら地域を活性化し、小規模な新規出店の支援等にも取り組みます。

●西原地区は、小規模な集落が散在し、公共性のある施設としては、和田駅前、ふるさとセンター「ついで」があるに留まっています。高齢化と人口流出が顕著、拠点となる人口集積が失われてきているため、和田集落の小学校跡地の活用が大きな課題となっています。そこで、住民と行政が協働で西原地区の将来像を描き、若者の定住やUターンを促進しながら、人口減少に伴う生活基盤の低下を防ぐ小拠点づくりを進めます。

## 天川村創生総合戦略 基本目標 4 まちづくり

地区の小さな拠点づくりや地区連携の推進

**地区の小拠点づくり、ふるさとづくり**

数値目標 小拠点づくりに向けての事業創出数の増加  
小拠点づくりに向けての交流活動参加者数の増加

地区の若年人口を見直し、生活基盤の構築を維持できるよう、まちづくり、小さな拠点づくり、ふるさとづくりを進めます。

●最初の5年の計画期間においては、本村の3地区のなかで、もっとも高齢化と人口減少が進み、生活基盤に対する危機感が高い西原地区において、住民との協働による小さな拠点づくりに取り組みます。

西原地区は、天の川沿い・生活幹線道路沿いに集落が散在し、さらに各民家が散在し、空き家や耕作放棄地が多く、生活圏の中心となる集積の集積はありません。そこで、長期的な人口減少予測を踏まえ、みんなで地区づくりを考えたいきます。

●また、本村の高齢率が約44%となっていることをふまえ、地区の小拠点づくりにおいては、年齢にとらわれないエイジレス化を進め、高齢者の健康の維持やいきがけづくりとして社会参加を促すとともに、女性や若者が活躍できる環境づくりの促進を図ります。

交流あり、助け合って暮らしてきた集落の機能を維持・回復しながら、住民、ボランティア、行政が協働で、全島参加のまちづくり（小拠点づくり）に取り組みます。

### (1) 新規雇用の創出や村外での就業先による居住の促進

- ① 第1次産業の6次産業化に伴う新規就業者への総合的支援  
——若者や女性等人材の確保・育成・定着支援
- ② 地域での就業を促進する雇用対策
- ③ 地元企業に向けての広域での就業支援
- ④ 空き店舗活用による新規の小規模出店の支援

### (2) 居住情報窓口によるUターンの促進と空き家の活用

- ① 空き家活用情報づくり
- ② 空き家や村営賃貸住宅等の情報発信の促進
- ③ 居住に関するワンストップ情報窓口の創設
- ④ 空き家の活用による2次就業生（お祭り・学生）の募集
- ⑤ 地元企業との連携

### (3) 教育環境との連携による地域に誇りをつき添える教育

- ① 地域に誇りをもつ学習・教育の推進
- ② ふるさと学習の推進
- ③ ICTを活用する学習・教育の推進
- ④ 教育研究機関との連携

### (1) 西原地区の村長との協働による小さな拠点づくり

- ① 小さな拠点でのしごとづくりや暮らしを促すまちづくり活動の活性化
- ② 空き家活用による地域情報サービス提供体制の構築
- ③ 高齢者による買い物支援
- ④ 居住情報窓口の創設  
——空き家活用による特約購入の支援

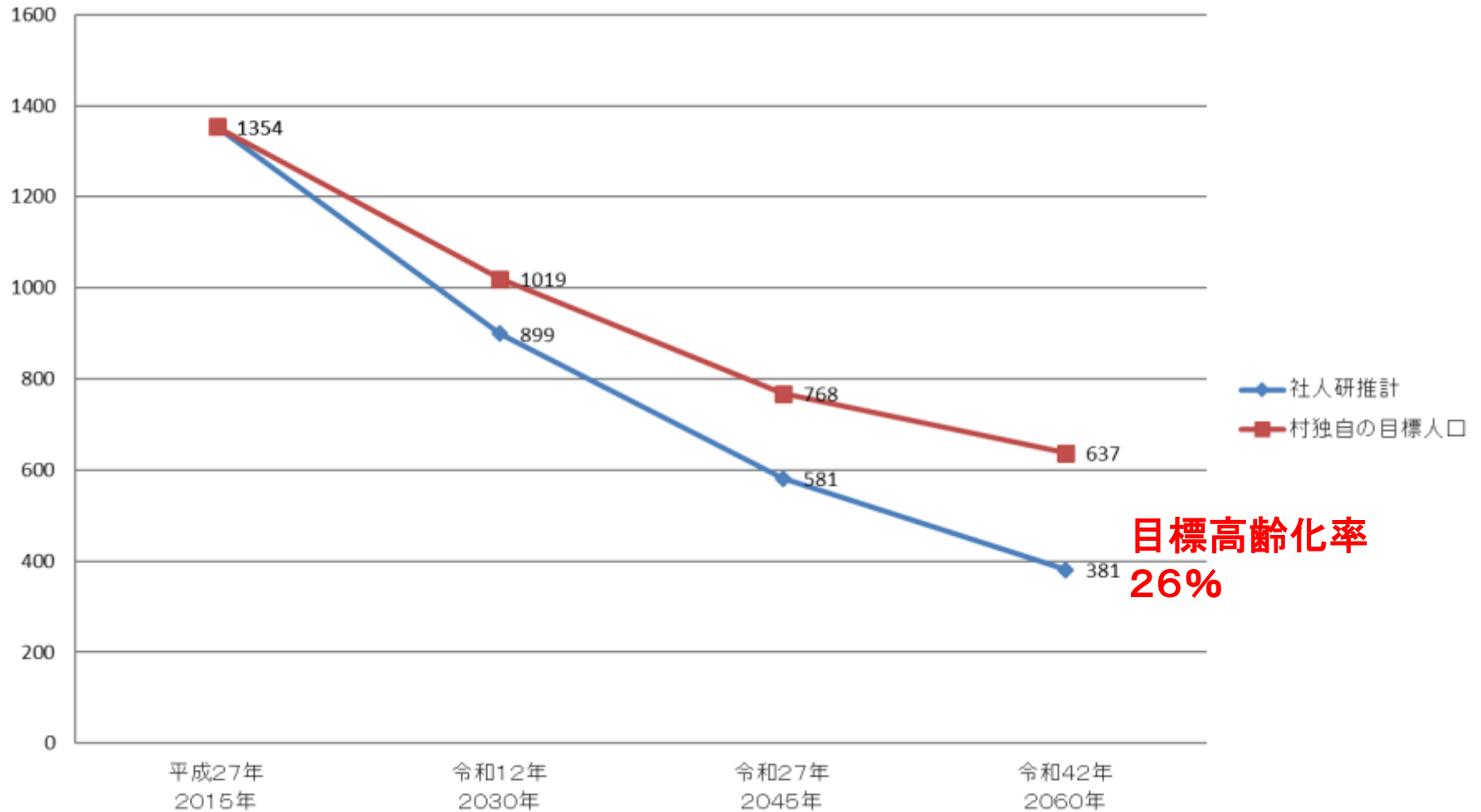
### (2) 全島参加の地域社会

- ① 高齢者の健康寿命を延ばす（健康づくり、介護予防の普及）
- ② 高齢者の社会参加の促進
- ③ 生活圏形成の実現に向けた高齢者の就業促進
- ④ 地域において女性が活躍する場をつくる
- ⑤ 住民が地域づくりに関与し、生活の質の向上を図る

### (3) 地域福祉の推進

- 交流あり、助け合い、生活の共同の再生
- ① 支援を必要とする人を支えるネットワークづくり
- ② ボランティア活動の活性化

# 天川村人口ビジョンによる目標人口





# 天川村創生総合戦略

## 天川村創生総合戦略 基本目標 1 しごとづくり

地域に根ざした仕事による安定した雇用の創出

### 観光との連携による農林水産業の6次産業化と 魅力ある観光地づくり

数値目標 新規雇用者の増加：5年間で30人増加  
観光客数：5年間で10%増加

●農林水産業と観光業の連携により、共に成長するように努めます。農林業は、地産地消を基盤として生産・加工業を立ち上げ、新鮮で安全な野菜・山菜等食材や加工食品を観光客に提供します。また、「ご当地名物」となる特産品づくりに取り組み、農林業が観光業とともに活性化し、本村の人口やにぎわいを増やすように努めます。

●また、本村は、大塚山頂部の聖地として、これまで「癒し」をテーマとする観光地づくりを進めてきています。そこで、本村に伝えられた薬草・薬木など「癒し」の農林産物を見直し、保養・養生など高齢化時代の大きなニーズに応える薬草特産品づくりとその6次産業化にも取り組みます。

さらに、農林業の6次産業化として、ICT活用や外需による広域への販路拡大を図り、地域に根ざした仕事による安定した雇用の創出に取り組みます。

●観光については、テーマ性、ストーリー性をもった個性のある観光コースの創定により、自然や歴史文化の魅力最大に取組みます。

●そのコースのひとつ、世界遺産の二大聖地である大塚と高野を結ぶ「大塚高野街道すずかけの道」には、随所に辻大師にまつわる多くの伝承が残されており、この観光ルート化を図ります。

#### (1) 観光との連携による農林水産業の6次産業化

- ① 特産品の開発と地域活性化のための交流の場づくり
- ② 農産物の生産・加工・販売事業（6次産業化）の支援
- ③ 「癒し」をテーマとする薬草等特産品の開発
- ④ 林産物関連の生産と販路開拓の支援
- ⑤ ICT活用等による広域への販路拡大の支援
- ⑥ 効果的な販路開拓の推進

#### (2) テーマ性、ストーリー性をもった 魅力ある観光地づくり

- ① 大塚と高野を結ぶ「大塚高野街道すずかけの道」づくり
- ② 「大塚高野街道すずかけの道」への交通サービスの検討
- ③ テーマ別観光コースの創定
- ④ 広域連携による農林水産業振興プロモーション
- ⑤ インバウンドの促進
- ⑥ 観光情報発信の強化

#### (3) 大塚・高野の歴史・文化の保護と、 再生可能エネルギー利用の推進

- ① 森林資源の有効活用促進
- ② 林業の活性化、普及の促進
- ③ 林業振興等の統括環境の改善による定住人口の確保
- ④ 公共施設等への太陽光発電の導入促進
- ⑤ 公共施設等への再生可能エネルギー導入の推進

#### (4) 起業、第二職業等の支援

- ① 個人事業主による起業の支援
- ② 包括的創業の支援

## 天川村創生総合戦略 基本目標 2 ひとの流れ

天川村への新しい人の流れの促進

### 空き家の活用によるUターン者の促進

数値目標 Uターンの増加：転入者数と同数の転入者数

村の3つの地区づくりの方向性にもとづき、新しい人の流れがそれぞれの地区の成長を促すように努めます。

●中央地区は、広域幹線道路整備の進行に伴って大塚町への交通時間が約40分となり、通勤可能な増加が拡大しています。この地区には、村役場、山村開発センターをはじめとする公的施設を擁し、南日真周辺には、保健・医療・福祉機能の充実を図っています。そこで、人口流出の抑制と、都市部から転入するUターンの促進に向けて、魅力ある居住地づくり、空き家の活用による住宅整備を進めます。

●割川地区は、コンパクトな人口の集積地区で、主要な観光地でもあります。伝統文化を保全しながら個性的で魅力ある観光・高層環境の整備を図り、温泉の保養・休養機能や観光機能を充実し、都市との交通の便を図っています。そこで、本村の農林水産業の6次産業化による特産品づくりとの連携による観光産業の活性化に取り組めます。また、若者の定住やUターンに向けて、空き店舗を利用して、事業者を育成しながら地域を活性化し、小規模な新規出店の支援等にも取り組みます。

●西原地区は、小規模な集落が散在し、公共性のある施設としては、和田駅前、ふるさとセンター「ついで」があるのに留まっています。高齢化と人口流出が顕著、拠点となる人口集積が失われてきているため、和田集落の小学校跡地の活用が大きな課題となっています。そこで、住民と行政が協働で西原地区の将来像を描き、若者の定住やUターンを促進しながら、人口減少に伴う生活基盤の低下を防ぐ小拠点づくりを進めます。

#### (1) 新規雇用の創出や村外での就業先による 定住の促進

- ① 第1次産業の6次産業化に伴う新規就業者への総合的支援  
——若者や女性等人材の確保・育成・定住支援
- ② 地域での就業を促進する雇用対策
- ③ 地元企業に向けての広域での就業支援
- ④ 空き店舗活用による新規の小規模出店の支援

#### (2) 居住困難地区におけるUターンの促進と 定住人口の増加

- ① 空き家活用促進づくり
- ② 空き家や村営賃貸住宅等の質的改善の促進
- ③ 移住についてのワンストップ相談窓口の創設
- ④ 空き家等の活用による2次就業生（お祭り・学生）の募集
- ⑤ 地元企業との連携

#### (3) 教育環境との連携による 地域に誇りをつき添える教育

- ① 地域に誇りをもつ学習・教育の推進
- ② ふるさと留学の推進
- ③ ICTを活用する学習・教育の推進
- ④ 教育研究機関との連携

## 天川村創生総合戦略 基本目標 3 結婚・妊娠・出産・子育て

若い世代の結婚・妊娠・出産・子育て希望の実現

### 子育て支援の充実

数値目標 2020年の合計特殊出生率 1.6  
2020年の0～4歳人口（総数） 27人  
2020年の生活不安指数「不安はない」が10%増加

基本的な目標は、「天川村子ども・子育て支援事業計画」をふまえて、次の3点とします。

1. 結婚・妊娠・出産、子育ての切れ目のない支援を実現するとともに、子どもや子育て家庭の多様なニーズに応えること。
2. 子どもを守り育む観点とともに、子どもの未来を育む環境づくりを推進すること。
3. 社会全体で子どもの育ちや子育てを支えて応援する地域づくりをめざすこと。

これらの目標に向けて、次のような施策対応を進めます。

- 若い世代の結婚に向けての出会いを支援します。
- 結婚・妊娠・出産、子育ての時期に応じた切れ目のない支援を進め、安心して子育てができる環境づくりを進めます。妊娠前から出産後の母子の心と体の健康のための健康、相談、加療体制を充実し、妊娠・出産、育児不安の軽減を図ります。出産直後の経済的負担を軽減します。

子どもの虐待防止の予防を含め、母子保護事業を推進します。●親を希望する女性が、出産・育児のライフステップを通して働き続けられるよう、多様な雇用や労働後子ども総合プラン等を整備します。

女性の就業環境の改善に向けて、労働時間短縮や育児休業制度の円滑な利用ができるよう事業者の意識改革を促し、育児・

介護休業法に定められた子育て期間中の短期労働制限制度の義務化や子どもの育環境の拡充を図ります。

さらに、社会全体で子育てや育ち多様な支援する仕組みを整えます。

#### (1) 出会いと結婚の支援

- ① 結婚に向けての出会いの支援
- ② 結婚希望者、結婚者のための相談窓口

#### (2) 妊娠前から出産後の母子の健康確保

- ① 母子の健康の保持・増進
- ② 児童、生徒の健康の保持・増進
- ③ 小児医療の充実と予防の推進

#### (3) 子育て支援の充実

- ① 子ども、子育て支援事業の推進
- ② 相談・情報提供体制の充実
- ③ 子育て家庭の経済的負担の軽減

#### (4) 社会全体で子育てを支援する仕組みの構築

- ① 仕事と生活の調和の推進と女性の就業環境の改善等
- ② 多様な働きかたの支援
- ③ 労働者の能力開発の充実
- ④ 子育て支援のネットワークづくり
- ⑤ 地域における交流の促進

## 天川村創生総合戦略 基本目標 4 まちづくり

地区の小さな拠点づくりや地区連携の推進

### 地区の小拠点づくり、ふるさとづくり

数値目標 小拠点づくりに向けての事業創出数の増加  
小拠点づくりに向けての交流活動参加者数の増加

地区の若年人口を見直し、生活基盤の構築を維持できるよう、まちづくり、小さな拠点づくり、ふるさとづくりを進めます。

●最初の5年の計画期間においては、本村の3地区のなかで、もっとも高齢化と人口減少が進み、生活基盤に対する危機感が高い西原地区において、住民との協働による小さな拠点づくりに取り組みます。

西原地区は、天川川沿い・生活幹線道路沿いに集落が散在し、さらに各民家が散在し、空き家や耕作放棄地が多く、生活圏の中心となる集積の集積はありません。そこで、長期的な人口減少予測を踏まえ、みんなで地区づくりを考えたいきます。

●また、本村の高齢者率が約44%となっていることをふまえ、地区の小拠点づくりにおいては、年齢にとらわれないエイジレス化を進め、高齢者の健康の維持やいきがけづくりとして社会参加を促すとともに、女性や若者も活躍できる環境づくりの促進を図ります。

交流あり、助け合って暮らしてきた集落の機能を維持・回復しながら、住民、ボランティア、行政が協働で、全島参加のまちづくり（小拠点づくり）に取り組みます。

#### (1) 西原地区の村長との協働による小さな拠点づくり

- ① 小さな拠点でのしごとづくりや暮らしを学ぶ場づくりの活用
- ② 空き家活用による地域情報サービス提供機能の充実
- ③ 高齢者による買い物圏の支援
- ④ 移住相談窓口の創設  
——空き家活用による特約住み替えの支援

#### (2) 全島参加の地域社会

- ① 高齢者の健康寿命を延ばす（健康づくり、介護予防の普及）
- ② 高齢者の社会参加の促進
- ③ 生活圏形成の実現に向けた高齢者の就労促進
- ④ 地域において女性が活躍する場をつくる
- ⑤ 住民が地域づくりに関与しつづける環境の整備

#### (3) 地域福祉の推進化 ——交流あり、助け合い、生活の共有の再生

- ① 支援を必要とする人を支えるネットワークづくり
- ② ボランティア活動の活性化

# 住宅施策(定住促進住宅の建設)

- 平成28年度、南日裏地区



# 住宅施策(定住促進住宅の建設)

- 令和2年度、洞川地区



# 天川村空き家バンク登録数

	新規登録物件数	利用者申込数
平成29年度	10件	17件
平成30年度	1件	20件
令和元年度	2件	9件
令和2年度	1件	34件
令和3年度	1件	30件

利用者申込の約70%がセカンドハウス利用



# 空き家の利用推進

- 固定資産税の納付書に「空き家バンク制度」のお知らせチラシの同封



- 空き家相談会の開催

- 空き家改修事業等補助金

空き家の改修、 最大50万円(補助率1/2)

家財道具処分、 最大10万円(補助率1/2)

# 新たな地域の活性化

- 産業の活性化は、観光関連事業を軸とすることにより即効性を重視。

+

- 農林水産業は長らく低迷が続いているが、波及効果の大きな産業。



- 観光事業との連携による農林水産業の6次化

# 「しごと」づくり(農業)

## 「洞川夏イチゴ」の栽培



# 「しごと」づくり(農業)

- 「洞川夏イチゴ」の栽培



生食用の果実出荷だけでなく、  
加工品の開発も行っている。





# 「しごと」づくり(水産)

- トラフグの陸上養殖



陸上養殖されたトラフグは体内に毒を貯めないといわれている

# 「しごと」づくり(水産)



トラフグの共食い防止のために、  
「歯切り」作業を行う。



# 「しごと」づくり(独立開業の応援)

- シェアオフィス西友(チャレンジキッチン)





# 「しごと」づくり(林業)

- 「森林塾」の開催





# 「しごと」づくり(林業)

- 企業連携植栽事業  
(一社)moreTreesと地域連携協定
- 山村地域の森林の活性化  
洞川財産区の伐採跡地約28haに広葉樹や  
陀羅尼助丸の原料であるキハダを植栽
- 地域連携協定の趣旨に賛同された、UGG、  
三井住友カード、AIGLEなどの世界的な大手  
企業が次々参加。

# 「しごと」づくり(林業)

- 企業連携植栽事業



# 「しごと」づくり(林業)

- 都市の企業の若者たちと進める森づくり





# 「しごと」づくり(林業)

- 国際的企業と協働の森づくり





# 「しごと」づくり(林業)

- 森づくりを通じた都市との交流



# 「しごと」づくり(林業)

- (一社)天川村フォレストパワー協議会



未利用間伐材を地域振興券で買取り、公共施設の薪ボイラー用の燃料として販売。

# (一社)天川村フォレストパワー協議会の取り組み





# 薪ボイラー設置施設



天の川温泉センター



天川村小規模多機能型居宅介護施設  
(もみじの里)

洞川温泉ビジターセンターにも薪ボイラーを設置する予定



# 薪ボイラーの導入状況



薪ボイラー1台1日あたり約0.5立米の薪を使用する。



# 温室効果ガス森林吸収源対策



県内事業所初J-クレジットのプロジェクト申請を済ませた村有林

# 「しごと」づくり(観光)

- 洞川温泉ビジターセンターの建設  
洞川地区の観光のワンストップ施設
- 事業に先駆けて「洞川温泉センター」に隣接する山林を約4,600m<sup>2</sup>取得し、宅地造成を完了。



# 洞川温泉ビジターセンター イメージ図





# 洞川温泉ビジターセンター イメージ図



ここで屋外浴室と連結し、緑を感じられる落ち着いた空間をつくります



# 洞川温泉ビジターセンター建設予定地

- ・洞川温泉センターに隣接する山林約4,600m<sup>2</sup>取得



# 洞川温泉ビジターセンター建設予定地





# 「教育」に関する取り組み

## ・義務教育学校「天川小中学校」





# 「教育」に関する取り組み

- 天川小中学校



## 義務教育終了後、子どもは親の元を離れる

- 天川村の場合、自宅から高校通学は困難  
(寮に入るか、アパート等を借りる事になる)
- 高校進学に伴う親の経済負担は、へき地特有の悩み

# 「教育」に関する取り組み

天川幼稚園

天川保育所



# 教育に関する取り組み





# 教育に関する取り組み



ご静聴ありがとうございました。

